鎌高新聞

発行　神奈川県立鎌倉高等学校　校長室

令和５年３月９日　　第24号

はなむけのことば

ご卒業おめでとうございます。

今日までのたくさんの思い出とともに、旅立ちの時を迎える皆さんを心から祝福します。

皆さんの高校生活は、新型コロナウイルス感染症の影響を少なからず受ける日々であったと思います。しかし、皆さんは、日々、自分たちでできることを考え、様々な工夫をしながら、学校生活を送ってこられました。こうした困難を乗り越えた経験は、大きな力となって皆さんを支え続けてくれることでしょう。

これから皆さんは、新しい世界に向けて歩き出します。その世界は、様々な困難もあることと思いますが、多くの可能性に満ちています。皆さんには、自らの可能性を信じ、夢の実現に向けて、最後まであきらめずにチャレンジしてほしいと思います。

昨年、サッカーの世界大会である、FIFAワールドカップカタール2022が開催されました。日本代表チームは、初戦の対ドイツ戦で逆転勝利し、日本中に歓喜をもたらしました。第３戦の対スペイン戦も、前半終了時点では０－１の劣勢でしたが、後半に見事逆転し勝利を収めました。この試合では、『三笘の１ミリ』が世界を驚愕させました。逆転弾を演出したのは、ラインアウト寸前のボールをあきらめずに追った三笘薫選手の左足でした。これに象徴される、選手一人ひとりの、最後まであきらめずに可能性を信じる心が、優勝経験のある２か国からの勝利をもたらしたのです。

皆さんが、これからの人生を歩んでいく中では、厳しい状況に遭遇することもあるでしょう。そのような時には、前向きに立ち向かう力、最後まで諦めずに可能性を信じる姿勢がとても大切になります。うまくいっている時ではなく、難しい状況に臨む時にこそ、皆さんの人間力が発揮されるのです。

解決が困難で複雑な課題に対しては、好奇心や探究心を持って積極的に向き合い、これまでにない新しい概念や価値観を創造していってください。皆さんが新しい社会の担い手として活躍されることを期待しています。

今後の皆さんの健康と活躍を祈って、はなむけのことばとします。

令和５年３月

神奈川県教育委員会
教 育 長 花田 忠雄

卒業式祝辞

校　長

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが、此の地で３年間学び、今日を迎えたことに、教職員を代表して心から祝意を述べさせていただきます。また、今日を迎えるにあたり保護者の皆さんに、祝意を述べると共に、本校の教育活動にご理解、ご支援をいただき、心から御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症のまん延防止の関係で列席する方を制限するなか開催されましたが、今回の卒業式は、校長にとっても３年ぶりのマスクなしで祝辞を述べさせていただきます。非常に感慨深い卒業式となりました。

さて、今日３月９日、この鎌倉港々の地から１隻１隻出港していきます。眼前の海は無限の広がりを持つ太平洋です。穏やかな内海から外洋に出れば、何日間も晴天が続く日もあれば、嵐のような日もあります。皆さんは、いままで人生 100 年時代の５分の１を過ごしたにすぎません。これからの人生で楽しいことや、辛いこと、進学、就職、昇進、結婚、出産、子育て、介護など、いろいろな出来事があると思います。
それらの出来事に対して自ら方向を決め、転覆しないように舵を切るのです。

皆さんには、今後の人生のためにグリット(GRIT)を身につけてほしいと思っています。単語としての意味は「小さな砂」「砂粒」ですが、口語では「勇気」「闘志」をさします。教育用語やビジネス用語では、「最後までやり抜く力」と定義されています。
グリットは知能、能力とならぶ第三力と言われ、優秀なアスリートや、優秀なビジネスマン、優秀な学生、優秀な研究者に共通の力として持っているものと言われています。すなわち人は才能や学歴、身体能力など生まれながらにして持っている力で成功するのではなく、物事に対する情熱であり、目標のためにとてつもなく長い時間、継続的に粘り強く努力して最後までやり遂げる力を、共通して持っていると言われています。

現在、棋士の藤井五冠と王将戦を対局している羽生善治九段は、「何かに挑戦したら確実に報われるのであれば、誰でも必ず挑戦するだろう。報われないかもしれないところで、同じ情熱、気力、モチベーションをもって継続しているのは非常に大変なことであり、私は、それこそが才能だとおもっている」といっています。この羽生九段の言葉こそグリッドだと思い、グリッドこそが才能や知能を生み、成功に導くのだと思っています。

此の地から出港していきますが、行先、すなわち目標は個々に異なります。疲れた時、ここでの３年間を想い起こしてください。脳裏には友や教員の顔が浮かぶと思います。偶には友に会い、鎌倉港々に寄港してください。母港は貴方たちを待っています。鎌倉より出でて日本、世界の各地・各界で活躍することを祈念し、校長からの祝辞とさせていただきます。